



地域運営学校 「学ぶ・鍛える・思いやる」

自主の庭

八王子市立城山中学校 学校だより
令和7年4月 第1号

第43回入学式校長式辞（抜粋）

校長 田野倉 教泰

まず、何よりもあなたが着ている標準服は、今年度から新しいタイプに変更をしたものになります。そして、この変更には学校創立40年を契機として素材やジェンダーに対応する等、「城山中学校は確かに新たな一步を踏み出しています」「卒業生も含めて上級生は真摯に学校生活を積み重ねてきています」という願いが込められています。そういった想いを込めて、大切に着こなしてください。

それでは、あなたの入学に際し、三つのお話をします。

第一に、城山中学校についてです。城山中学校は、戦国時代、北条氏照の居城であった八王子城の別名を校名として昭和58年に開校し、今年で開校43年を迎えました。先日举行了卒業式では、通算6,392名の卒業生を輩出しています。

また、校章は中心に北条氏の家紋であるミツウロコを置き、この地域に自生していたカンアオイを三つ放射状に組み合わせています。さらに、この三つの葉は元八王子町・川町・武分方町の三地区の一体化を表しており、この地域に根付く伝統を受け継いでい次につなげていくという想いをもって学校生活を送ってください。そして、標準服のボタンに校章をつけることにしましたので、ボタンを見るたびに校章に込められた想いをかみしめてください。

第二に、これからの学校生活についてです。八王子市では、あなたが心身ともに健康で自ら考え行動できる社会性豊かな児童・生徒となるように、小中一貫教育という、小学校と中学校のつながりをより一層深めていく教育活動を進めています。

あなたは、不安や期待でいっぱいの中、中学校生活をスタートさせていると考えますが、これまで「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子、げんきな子」を目指し、みんなで伸び、役に立つよろこびの実現に向けて、六年間という期間をかけて積み重ねてきた学びと育ちがあります。その、六年間の積み重ねを土台にして、義務教育九年間のまとめとなる三年間を城山中学校で送ってください。

第三に、あなたへ城山中学校の生徒として目指すべき学校教育目標を示します。それは、
学ぶ 鍛える 思いやる です。

この言葉は校歌の一節にもありますが、この目標達成に向けて自主の庭でたくましく粘り強く物事に取り組み、生活の節目では実る喜びを実感することを期待しています。

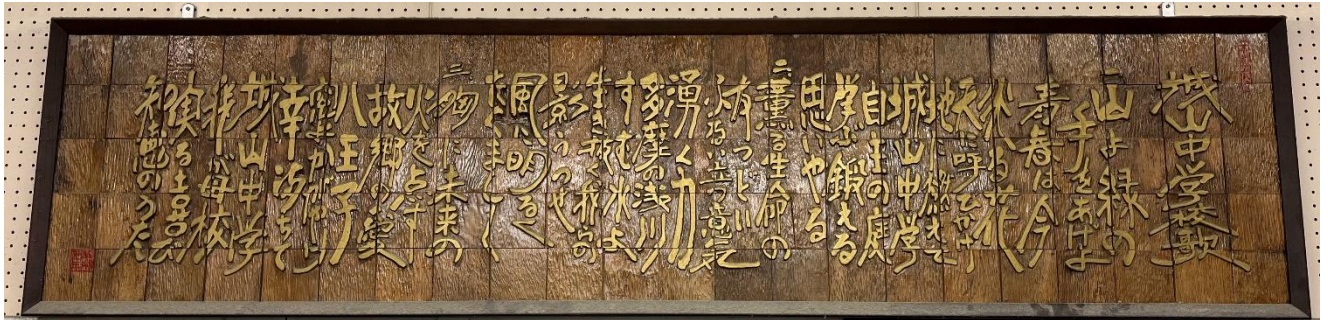
そして、他の人との比較ではない、大切なあなた自身の成長のために進むべき「あなたの道」を見つけ、将来社会に出ても、「あなたの道」を歩み続けていくための土台作りをする三年間であってください。

がんばれ、城中1年生

学校だよりの表題を一新しました

学校だよりの表題ですが、昨年度3月号までは「学校だより」とそのままでした。また、枠内に言葉がたくさん配置されていたこともあり、整理も含めて表題を変えるのはどうかと思索していました。

そこで、枠内の言葉の整理とともに学校だよりの表題にも学校が進むべき方向を示すことができなかと考え、表題を「自主の庭」にしました。「自主の庭」は、御存じのとおり、本校校歌1番の一節です。



(音楽室正面黒板上のもの)

別れと出会い

3月25日(火)に離任式、そして春季休業を経て4月7日(月)に着任式を実施しました。子ども達は、離任式ではお世話になった先生方のこれからの御活躍を願い、これからの成長を約束しました。そして、着任式では先生方とともに令和七年度の城山中学校を創っていくという気持ちを新たにしました。



(離任式)



(着任式)

安間 英潮 ハ王子市教育長からみなさんへメッセージ

新しい1年のスタートに当たり、全校生徒に伝えてほしいというメッセージを託されたので紹介します。みなさんがそれぞれもっている良さや可能性を伸ばしていくためにも、一人で抱え込まず、ともに進みます。

「生活をしていて、何かの出来事が起こり、嫌な気持ちをもつことがあるのは普通のこと、そんな時に、誰かに助けを求めることは、少しも恥ずかしいことではない。」